

## エバラ × 技術支援



例えば、人々のため、地域社会のため、地球環境のために技術支援を継続していくことはエバラの社会貢献活動のひとつです。

1989年に「畠山清二記念荏原基金」は、「環境保全技術に独占はなく、地域社会とともに生きるエバラ」という理念の下に設立されました。主に東南アジア諸国との相互理解と友好関係を深める目的で、2011年4月現在で、17カ国の1万人以上の人々に実務レベルのセミナーを218回実施するとともに、適正技術開発、奨学金の提供などを行ってきました。この草の根的な国際協力活動は、荏原の技術と経験を東南アジア諸国に役立てる活動として、グローバルに事業を展開する企業の責任として継続しており、今後は東南アジア以外の国々にもこの基金の理念を継承していきたいと考えています。



技術支援で地域社会の発展に貢献する、エバラの技術力。